

令和3年12月

NO.56

公立学校共済組合東北中央病院 地域医療連携室・入退院支援室

TEL 0120-703-995 FAX 0120-168-990 代表 TEL 023-623-5111

医療連携につきましては、日頃よりご協力いただき、誠にありがとうございます。

▷ 第21回 和GO懇話会

令和3年11月25日（木）大手門パルズで、「第21回和GO懇話会」を開催しました。新型コロナウイルス感染予防対策のため、参加者の皆様には消毒及びマスク着用のご協力をお願いし、会場内では座席間隔の確保と換気を徹底しての開催となりました。関係医療機関の先生方にご参集いただき有意義に開催されましたことに、厚く御礼申し上げます。

一般演題

『コロナ禍での血圧管理を考える』

演者：循環器科医長 南幅 修 医師（写真左）

座長：佐藤清医院 院長 佐藤 清 先生（写真右）



我が国の高血圧症者は約4,300万人おり、その7割がコントロール不良や高血圧と未認識、または認識していても未治療など、管理不良となっているようです。コロナ禍においては、食生活の変化による塩分摂取量の増加、運動不足や体重増加がみられています。高血圧治療においてはアドヒアランス（患者の自発性・積極性）がとても重要となり、生活習慣の改善のほか降圧薬治療では効果を見ながら作用機序が異なる他薬剤に変更するなど、適切な降圧薬を選択する必要があります。また、「体調不良が無いからよいか」と医療者側がガイドラインに沿った治療を行わないイナーシャもコントロール不良に繋がる要因のひとつです。高血圧治療については、それぞれの患者様の状態に合った治療・降圧薬の選択が必要になるとお話をいただきました。

特別講演

『最近の消化器病領域のトピックスから』

演者：山形大学医学部附属病院 第二内科 教授

上野 義之 先生（写真左）

座長：消化器・肝臓内科部長 石濱 活義 医師（写真右）



消化管・肝臓・胆膵についての内容をご講演いただきました。消化管癌のうち食道癌は、飲酒・喫煙が無い低リスクの女性でも発症します。これには、特異的な遺伝子異常が関係しているのわかってきました。肝臓がんについては、山形県では、B型・C型肝炎の罹患者が減少し、死亡率は全国で5番目に低くなり、治療の標準化・適正化がこの結果に結びついたと言えます。肝臓癌の原因には、各種の肝炎があり、その一つのNASH（非アルコール性脂肪肝炎）罹患者は増加の傾向にあります。肝硬変の治療において、以前は安静が推奨されていましたが、サルコペニアを防ぎ、肥満にならないために、現在では運動療法が有効とされています。また、認知症患者ほど議論されていないものの、肝性脳症発作リスクを考慮すると車の運転は危険であり、運転免許証の返納が望ましいとも考えられています。消化器疾患は、疾患克服ができる分野であり、様々な研究にチャレンジしていると、消化器治療の最前線をお話いただきました。

今後も地域医療の発展のため、先生方の御要望をお聞きしながら尚一層の努力を重ねて参ります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

